

少年連盟だより 第11号

# ののさまといっしょ

発行/新潟教区少年連盟

〒940-2402 長岡市与板町与板乙 4356 新潟教区教務所内  
TEL 0258-72-2120 FAX0258-72-2536



二〇一三年度 ヤマースクール

新潟教区少年連盟会長 旭 勲

少年連盟だより「ののさまといっしょ」をお届いたします。

教区少年連盟の会長を、早くも六年間勤めさせていただきました。就任当初より、目標に掲げているのは「単位登録の推進(増加)」であります。就任三年目に、新潟教区では三十単位を超え、記念行事を行なうことができましたが、そこから伸び悩んでいることも事実です。また、休会、退会のご連絡をいただくこともあります。

本山の少年連盟も、昨年から新しい理事長のもと、活動が推進されていますが、新理事長の目標にも「単位登録寺院の増加」が挙げられています。具体的な数字として「三割」の増加をめざす、とされています。

「なぜそこまで単位登録にこだわるのか、それぞれの寺院で少年教化活動がなされていればそれで良いのではないか」と言われる方もありますが、私の意見は少し違います。

それぞれの寺院での活動がもちろん大切ですが、苦しみや悩みにぶつかるとも多々あると思うのです。そんな時、ともに少年連盟に属した「なかま」がいることは、大きな支えになるはずです。

少年連盟は、各寺院それぞれの少年教化活動を、ますます充実させる原動力となる組織です。

# 第五回少年教化推進者研修会に参加して

新潟教区少年連盟副会長 鈴木 一生

昨年六月に開かれた少年教化推進研修会に参加することになった私の楽しみ・目的は、「どれだけネタを仕入れることができるか?」が重要ポイントでした。その反面、「つまらなかつたら二度と行くもんか!」と覚悟していたのも事実。(笑)

その結果、収穫アリ!!  
子どもとの遊び方の例を教えてくださいました中島先生には、自分の知らない新しいゲームの発見・メジャーなゲームでの応用例など。

また、講義では季平先生の分かりやすい話よりも、途中で紹介された歌の方が私に猛烈にヒット!(内心「そう言えば、前にもこの先生はこの歌を紹介したような...。まあ、いいや。」)

その歌とは、熊木杏里さんの「誕生日」という歌でした。メロディー・歌詞ともに暖かい雰囲気です。これなら子ども会でも、みんなで歌える!と喜んだのでした。

そして、それを夏の子ども会で早速実行です。参加してくれたみんなで練習して、近所の老人ホームへ慰問の際に歌のプレゼントができました。今でも、子ども達が満足気に晴れやかな顔をしてお寺へ帰る様子が思い出されます。

このように、研修の成果は見事にGet's & Turn!として反映でき、また、子ども会のあり方を模索する手助けとなってくれたのが今回の研修でした。

いや、研修会って本当に良いもんですね!

合掌



与板組 明元寺 中院 法栄

みなさんは、少年教化をどのように考えてられるでしょうか? 私は、少年教化に携わることは、これからのお寺にとって、非常に大事な意味があると思っております。

ある二門徒さんから次のようなことを聞かさせていただきました。  
「子どものころ、お寺へ行くことがとても楽しみだった。お寺へ行くとおいしいご飯も食べられるし、たまに親からお菓子も買ってもらった。だから、お寺へ行くことが楽しみでした」

親御さんの気持ちを考えてみると「なんとか子どもにもお寺を身近なところに使いたい、そして、お寺にお参りさせたい」という願いが伝わってきたお話でした。

そして、その子どもたちが今、お寺参りをされるご年配の方たちとなっておられます。

昔と同じように、今の子どもたちを誘っても難しいと思います。だからといって、子どもたちの存在を無視してはいけません。無視していけば、これから先のお寺の存続が難しくなっていくことは明らかです。

そして、少年教化についてのなにより大事な点があるのです。それは、子どもたちもいつ、死を迎えるかわからないということ。私たち僧侶は、諸行無常と聞かせていただいております。そのことは、子どもたちにも伝えることなのではないでしょうか。

だから今、少年教化が必要なのです。  
私は、本山の少年教化推進者研修会へ参加させていただき、改めて少年教化の重要性に気づかせていただきました。



# 2013年度サマースクール(教区の集い)

## 平成25年8月8日(木)~9日(金) 西山交流体験施設「ゆうぎ」にて

### 「子ども達の声」

### 子ども達の感想文をそのまま掲載させていただきま〜



たのしかったこと  
 あおき えり  
 よるのつどいがたのしかったです。がんばってわっかをさがして一ばんになれてうれしかったです。はなびもきれいでした。  
 たけとんぼをはじめてつくりました。たけがかたくてむずかしかったけど、いようずにとばせました。またさまりすくーるにさんかしたいです。



サマースクール 8月8日  
 前波 侑生  
 ぼくは、山のぼりをしました。キノコがいっぱいありました。チェックポイントでは、かいだんが七十四だんありました。山のぼりがおわたたら夕はんを作りました。夕はんはシチューでした。食べおわたら外にでて、光るリングをもらってあそびました。

サマースクール

こんどう あやか

わたしは、サマースクールではじめてやったのはキャンプです。キャンプでねるときに知らない人とまくらなげをして一ばん目にあたりました。くやしかったです。あとからまたこちよこちよごっこをしたのしかったです。そしてキモチ花火をせんこう花火をやってたうちけむりがでてきてくしゃみがでてきました。そして火をもったりするやつがちよつとこわかったです。それにたからさがしをして一回目は二人みつかりました。三回目でおたしがおにになつたら、かちました。



キャンプに行ったよ。

岩下 祐翔

サマースクールでキャンプに行きました。

①はじめに大きなバスにのって一人でせきにすわりました。したらバスから出て場所についたらへやにいてにもつをいってから外にでました。

②次の日に竹とんぼを作りました。竹とんぼを作る時にカッターをつかいました。木のかけらが手にとびました。二回とびました。竹とんぼがかんせいして、とびして見たらよくとびました。また作りたいです。



## 第三十七回 少年連盟中央研修会 参加者募集!

本山少年連盟では、毎年「中央研修会」を行なっています。各寺院での日校や、子ども会でのサブリーダーを育成する研修会で、西本願寺を中心会場とし、比叡山でのウォークラリーや、親鸞聖人のご生涯をスタンツ(劇)を通して学んだりします。

何よりも、全国の子ども会を経験している「なかま」との出あいがあります。

二泊三日の日程を通して、阿弥陀さまの願いや、親鸞聖人のご一生を聞き、さらに全国のなかまとの出あいなど、数え切れない貴重な経験のできる楽しい研修会となっています。

ぜひ子どもたちに貴重な経験をさせていただきたく思いますので、参加奨励をよろしく願います。

第三十七回 少年連盟中央研修会

・期 日 二〇一四(平成二六)年三月二十六日(水)

二十八日(金)

・会 場 間法会館・洛兆(門前旅館)等

・参加対象 二〇一四(平成二六)年三月現在で、

小学四年生以上、中学校二年生以下の児童

・募集人数 七十人

・参加費 一万円(研修費・宿泊費)



☆詳細は別紙ご案内をご参照いただき、新潟別院までお申込み下さい。

## 第三十七回 少年連盟中央研修会について

上記の通り、とても楽しく貴重な中央研修会ですが、毎回、往復の交通手段でお困りの声を聞いています。

そこで昨年より、教区少年連盟とは直接関わりませんが、バスでの送迎を有志で行なっております。

昨年の行程ですと、研修会当日の午前六時三十分、新潟(長岡)を出発し、正午過ぎに西本願寺へ到着。研修会終了後、西本願寺を出発し、午後八時過ぎに新潟(長岡)へ到着しました。せっかくの研修会ですので、多くの皆さまからご参加いただきたく、今年度もバスの送迎を企画しますので、どうぞご利用下さい。

第三十七回 中央研修会 【バス送迎】

・期 日 二〇一四(平成二六)年三月二十六日(水)

二十八日(金)

・集合場所 参加者へ後日お知らせいたします。

・対象 中央研修会参加児童・引率者

・募集人数 十名程度

・費用 一万八千円(往復バス利用・食事代含む)

・引率者 大人(僧侶)一名

・バス手配 新潟ビーエス観光

※あわせて引率者も募集していますので、研修会の見学等も含めて、お問い合わせ下さい。(本山からは、各教区一名分の交通費補助が出ます)

☆詳細は新潟別院までお問い合わせください!